



国土交通省道路局長 殿

栗土建第 213 号  
平成19年5月10日

栗国村長 上江洲 誠吉



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について

平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のありました、みだしの件について別添のとおり報告します。

中期的な計画の作成にあたっての意見 『粟国村』  
(今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見)

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- 1) 観光イベントに資する道路整備
  - ・村道一周線（沖縄県過疎代行事業）は村の観光・イベントに重要な路線である。
- 2) 日常の暮らしを支える生活道路の整備
  - ・住宅道路は、ある程度整備されてきているが、途中で整備が中断している道路があり拡幅などの整備をする必要がある。
  - ・住宅道路の1・2級路線の一部に生活路線にもかかわらず幅員が狭く、拡幅が困難なため、採択用件に満たない未整備道路があり、何らかの対策処置を講じてもらいたい。
- 3) 学校周辺での交通事故対策
  - ・学校周辺道路は、幅員も狭く道路に中央線も引けない状態であることから、拡幅して歩車分離をして欲しい。
- 4) 道路管理の充実
  - ・道路を作ってから維持管理には、費用もかかり大変である。それに対しても何らかの対応が必要である。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- 1) 事業進捗のスピードアップ
  - ・村道一周線（沖縄県過疎代行事業）は着手（平成4年）して10年以上経過しているにもかかわらず進捗が思わしくない。その理由として、用地交渉で代替地（村有地）が少ない事や、相続関係で交渉相手が島外にいると時間・費用がかかっている。ルートの見直しもしており、事業の効率化を図り、早期完成するために良い知恵は無いかな。